

三学期の始業にあたり

みなさん、お久しぶりです。2026年が始まりました。

早速ですが、今年一年を過ごすにあたっての計画はできてますか？

「一年の計は元旦にあり」という言葉のとおり「行き当たりばったりで始めるのではなく、最初にゴールを見据えて準備をすることで、充実した一年を過ごしてほしいし「よし、やるぞ！」と決意することで、ダラダラ過ごすのを防ぎ、自分を律するきっかけにしてほしいと本気で思っています。

二学期終業式にて伝えましたが

「考えは言葉となり、言葉は行動となり、

行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」。

まさに、そのとおりです。

「成長するためにも、達成すべき目標を立てましょう」。

「全国制覇を成し遂げたいのなら、もはや何が起きても揺らぐことのない断固たる決意が必要なんだ」

これは「スラムダンク」という漫画の安西監督のセリフです。この言葉を少年ジャンプの紙面で初めて目にしたときは、すごく心を揺さぶられ感動しましたが、あくまで漫画の世界の話です。

でも実際のスポーツの世界でも、同じような名言があります。WBC ワールドシリーズ第5戦に負け、2勝3負で負けたら後がない状況で山本由伸投手が会見で発した「**何としても負けるわけにはいかない。**」というコメントがまさしく、「**断固たる決意**」です。そして試合はドジャースが勝って3勝3敗の五分に戻し、最終戦の第7戦を延長戦の末に制して、シリーズチャンピオンに輝きました。

ただし、アメリカでは「**何としても負けるわけにはいかない。**」日本語のコメントを専属通訳の園田さんが「**LOSING isn't an OPTION. (負けるという選択肢は無い)**」と訳してしまい、こちらの方が有名になってしまったという後日談があります。

最後に、3年生の皆さんは、卒業式まで約3ヶ月間、力を振り絞り、有終の美を飾って欲しいと思います。

2026年、どの学年にとっても、最高の年になることを願っています。